

医学部保健学科

学位：学士（看護学）

教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

看護学専攻

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、医学部保健学科看護学専攻は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性と倫理性」「創造性」「地域性・国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、基礎教養科目、総合教養科目、外国語科目、情報科目、健康・スポーツ科学、高度教養科目及びその他必要と認める科目を開設する。

2. 深い学識を涵養し、「専門性と協働」を学生に身につけさせるため、以下の専門科目を開設する。（共通専門基礎科目及び学部が開設する高度教養科目を含む）

・人々の生活の質（QOL）の向上をめざし、幅広い知識と確かな技術・豊かな感性を備えて看護実践する能力を身につけることができるよう国際保健、災害保健などの高度教養科目、現代医療と生命倫理などの共通特論、看護原論、ひとと環境、などの講義科目、生活援助技術演習、治療援助技術演習、リフレクション演習、看護実践統合演習などの演習科目、看護実践基盤実習、看護実践展開実習などの実習科目、看護研究方法論、卒業研究を開設する。

・医療の基礎学力と専門知識を習得した看護専門職者として、保健医療福祉チームにおいて協働する能力を身につけることができるよう I P W 概論、保健学初年次セミナーなどの共通特論、初期体験実習、I P W 統合演習などの高度教養科目、病理学、健康と栄養、薬と生体反応、身体の仕組みと働きなどの講義科目、解剖学演習、フィジカルアセスメント演習などの演習科目、看護実践基盤実習、看護実践展開実習などの実習科目を開設する。

・科学的・論理的思考力、実行力、コミュニケーション能力を持ち、リーダーシップを発揮する能力を身につけることができるよう保健学初年次セミナー、初期体験実習などの共通特論、災害保健、国際保健、I P W 統合演習などの高度教養科目、統計学、病理学、保健行政論、生化学、援助過程論、症状マネージメント論などの講義科目、リフレクション演習、看護実践統合演習などの演習科目、看護実践基盤実習、看護実践展開実習などの実習科目、看護研究方法論、卒業研究を開設する。

なお、これらの科目は、講義・演習・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせで行う。学修成果の評価は、学修目標に即して多面的、包括的な方法で行う。

学位：学士（保健衛生学）

教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

検査技術科学専攻

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、保健学科検査技術科学専攻は以下に示した方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性」「創造性」「国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、基礎教養科目、総合教養科目、高度教養科目、外国語科目、初年次セミナー、キャリア科目、情報科目、健康・スポーツ科学及びその他必要と認める科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性と協働」を学生に身につけさせるため、以下の専門科目を開設する。（共通専門基礎科目及び学部が開設する高度教養科目を含む）

・「高度の専門知識と検査技術」を身につけることができるよう現代医療と生命倫理、初期体験実習、IPW 概論などの共通特論、IPW 統合演習（高度教養科目）、解剖学、生理学、生化学、統計学、病理学、免疫学、分子生物学概論、公衆衛生学、臨床血液学、臨床細菌学、臨床検査医学、遺伝子・染色体検査学、生理機能検査学、ウイルス検査学、臨床細菌検査学などの講義科目、生理学実習、解剖学実習、公衆衛生学実習、臨床化学実習、臨床免疫学実習、臨床血液学実習、臨床生理学実習、病理組織細胞学実習、ウイルス検査学実習などの実習科目、検査統合演習、検査情報解析学演習などの演習科目を開設する。

・「社会の第一線で活躍しうる研究・教育活動」を身につけることができるよう災害保健（高度教養科目）、保健行政論（講義科目）、原書講読、卒業研究を開設する。

・「技術及び機器の研究開発」を身につけることができるよう検査管理総論、機器分析学、検査機器学、生体情報計測学、医療システム論などの講義科目、機器分析学実習、生体情報計測学実習などの実習科目を開設する。

・「国際学术交流への貢献」を身につけることができるよう国際保健、国際感染症論などの高度教養科目、ウイルス学、国際情報検索などの講義科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・演習・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせて行う。学修成果の評価は、学修目標に即して多角的、包括的な方法で行う。

学位：学士（保健学）

教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

理学療法学専攻

神戸大学のカリキュラム・ポリシーにもとづき、保健学科検査技術科学専攻は以下に示した方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性と倫理性」「創造性」「地域性・国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、基礎教養科目、総合教養科目、外国語科目、情報科目、健康・スポーツ科学、高度教養科目及びその他必要と認める科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性と協働」を学生に身につけさせるため、以下の専門科目を開設する。（共通専門基礎科目及び学部が開設する高度教養科目を含む）

・幅広い領域にわたる医学と理学療法関連科学の基礎を学び、標準的な理学療法学の理論と技術を修得する能力を身につけることができるよう保健学初年次セミナー、地域看護学概論、保健医療福祉論、保健行政論、国際保健、災害保健などの幅広い保健に関する講義、解剖学、運動学、人間発達学、生理学、病理学といった基礎医学に関する講義と実習、内部障害学、小児疾病論、外科学概論、移植管理学、整形外科学、スポーツ医学、臨床神経学、精神医学といった臨床医学に関する講義、初期体験実習、IPW 概論、IPW 統合演習を通じたチーム医療に関する科目を開設する。

・最新の理学療法領域関連やリハビリテーションに関する情報を学び、それらに関わる歴史的経緯や科学的検証・根拠を理解する能力を身につけることができるよう理学療法評価学、物理治療学、義肢・装具学、日常生活活動学、筋・骨格系障害理学療法学、神経系障害理学療法学、内部障害理学療法学、発達障害理学療法学などの講義と実習、理学療法地域医療実習、臨床実習Ⅰ、臨床実習Ⅱ、臨床実習Ⅲ、臨床実習Ⅳなどの病院内外での実習、理学療法研究法、理学療法研究法演習、卒業研究といった科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・演習・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習など適宜組み合わせで行う。学修成果の評価は、学修目標に即して多角的、包括的な方法で行う。

学位：学士（保健学）

教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

作業療法学専攻

神戸大学のカリキュラム・ポリシーに基づき、医学部保健学科作業療法学専攻は以下の方針に則りカリキュラムを編成する。

1. 「人間性と倫理性」「創造性」「地域性・国際性」を学生に身につけさせるため、すべての学生が履修する共通の科目として、基礎教養科目、総合教養科目、高度教養科目、外国語科目、情報科目、健康・スポーツ科学及びその他必要と認める科目を開設する。
2. 深い学識を涵養し、「専門性と協働」を学生に身につけさせるため、以下の専門科目を開設する。（共通専門基礎科目及び学部が開設する高度教養科目を含む）

- ・医療・保健・福祉など各分野における高度な作業療法学の専門的知識および技術を習得するために主体的かつ継続的に学習する能力を身につけることができるよう国際保健、リハビリテーション工学・福祉用具学などの高度教養科目、初期体験実習、現代医療と生命倫理などの共通特論、作業療法概論、基礎作業学、身体障害作業療法学、精神保健作業療法学Ⅰ・Ⅱ、発達障害作業療法学などの講義科目、基礎作業学実習Ⅰ・Ⅱ、身体障害作業療法学実習Ⅰ・Ⅱ、精神保健作業療法学Ⅰ・Ⅱ実習、発達障害作業療法学実習Ⅰ・Ⅱ、臨床実習Ⅰ～Ⅴなどの実習科目、卒業研究などを開設する。
- ・高度な医療専門職として、チーム医療の現場で関連職種との優れたコーディネート能力を発揮し、協働する能力を身につけることができるよう災害保健、IPW統合演習などの高度教養科目、保健学初年次セミナー、IPW概論などの共通特論、リハビリテーション概論、解剖学Ⅱ・Ⅲ、病理学Ⅰ・Ⅱ、精神医学Ⅰ・Ⅱ、在宅援助論などの講義科目、作業療法フィールド実習、リハビリテーション工学・福祉用具学実習、作業療法統合実習などの実習科目を開設する。

なお、これらの科目は、講義・演習・実習等の授業形態に応じて、アクティブラーニング、体験型学習などを適宜組み合わせて行う。学修成果の評価は、学修目標に即して多角的、包括的な方法で行う。

部局DPIにおける学習目標	身につけるべき能力	1年次				2年次		3年次		4年次																																																																																																												
		1Q	2Q	3Q	4Q	前期	後期	前期	後期	前期	後期																																																																																																											
		基礎教養科目(区分:化学)	生化学	国際保健	災害保健	リフレクション演習	緩和ケア論	IPW統合演習	基礎教養科目(区分:地理学)	薬と生体反応	身体の仕組みと働きⅢ	看護実践展開実習Ⅰ(成人)	クリティカルケア論	看護トピックス	基礎教養科目(区分:心理学)	身体の仕組みと働きⅡ	解剖学演習	慢性期にある人の看護	看護実践展開実習Ⅰ(老人)	セルフヘルプ論	周産期トピックス	総合教養科目(区分:「カタチ」の文化学)	健康と栄養	感染看護論	治療・回復期にある人の看護	看護実践展開実習Ⅰ(小児・家族)	治療的コミュニケーション論	看護情報学	総合教養科目(区分:ESDボランティア論)	感染・免疫学	治療援助技術演習	老人看護論	看護実践展開実習Ⅰ(精神)	新生児健康障害論	看護政策論	総合教養科目(区分:ESD基礎)	臨床心理学	看護実践基礎実習(生活援助)	小児看護学	看護実践展開実習Ⅰ(母性)	看護実践展開実習Ⅱ(成人)	統合看護実習	総合教養科目(区分:ESD生涯学習論)	病理学	生涯発達看護論	母性看護学	看護研究方法論	在宅看護学Ⅱ	看護管理論	総合教養科目(区分:ESD論)	ひとと生活	援助過程論	精神看護学	看護実践展開実習Ⅱ(在宅)	リカレント教育論	総合教養科目(区分:ボランティアと社会貢献活動)	生活援助技術演習	死生看護論	周産母子健康障害論	統合看護実習	卒業研究	総合教養科目(区分:ものづくりと科学技術)	看護実践基礎実習(援助関係)	母性看護学概論	フィジカルアセスメント演習	総合教養科目(区分:越境する文化)	病い論	疾病の成り立ちと治療Ⅰ	看護実践統合演習	総合教養科目(区分:科学技術と倫理)	メンタルヘルス論	疾病の成り立ちと治療Ⅱ	リフレクション演習	総合教養科目(区分:学校教育と社会)	保健行政論	疾病の成り立ちと治療Ⅲ(こども)	保健医療福祉論	総合教養科目(区分:環境学入門)	統計学	疾病の成り立ちと治療Ⅳ(精神)	在宅看護学Ⅰ	総合教養科目(区分:阪神・淡路大震災)	地域看護学概論	公衆衛生学	家族看護学	総合教養科目(区分:食と健康)	研究ゼミナール	地域看護活動論	看護研究方法論	総合教養科目(区分:人間活動と地球生態系)	総合教養科目(区分:生活環境と技術)	地域看護実習	研究ゼミナール	総合教養科目(区分:生物の環境適応)	総合教養科目(区分:生物資源と農業)	総合教養科目(区分:生命科学)	総合教養科目(区分:男女共同参画とジェンダー)	総合教養科目(区分:文化人類学)	外国語第Ⅰ	微分積分入門1	微分積分入門2	情報科学1	情報科学2	力学基礎Ⅰ	力学基礎Ⅱ	線形代数入門1	線形代数入門2	生物学概論Ⅰ	生物学概論Ⅱ	基礎有機化学1	基礎有機化学2	保健学初年次セミナー	生物学各論C1	生物学各論C2	初期体験実習	身体の仕組みと働きⅠ	IPW概論	看護原論

専門性と協働

科学的・論理的
思考力、実行
力、コミュニケ
ーション能力を持
ち、リーダース
シップを発揮する能
力

